

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成 26年 7月 25日
報告者の住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区烏丸通塩小路下る東塩小路町901番地	報告者の氏名(法人にあつては、名称及び代表者名) 株式会社ジェイアール西日本ホテル開発 代表取締役社長 土師 総一

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	KESステップ2
適用範囲	株式会社ジェイアール西日本ホテル開発本店(ホテルグランヴィア京都)
導入年月日	2005年3月31日
認証番号	KES2-0120
基本方針	地球環境の保護が21世紀における人類の最重要課題のひとつであることを認識し、環境にやさしいホテル経営を通じて社会に信頼される企業づくりを目指す
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の取り組み情報を四半期毎に発信 ・売上単位あたりの洗剤使用量に関してはH25年度数値維持 ・売上単位あたりCO2排出量を対前年度比1%削減 ・主要な事務用消耗品のグリーン購入比率を60%以上に維持 ・売上単位あたりの雑用排出量を対前年度比1%削減
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自社WEB広報、J R本社と連携し、環境への取り組み情報を広く発信 ・駅周辺清掃活動への参加と社内の清掃美化 ・洗剤の発注・管理の一元管理の検討 ・空調・照明・エレベーター等の適正運用 ・電球のLED化の拡大検討 ・事務文具品、営業消耗品のスリム化、エコ商品への切り替えを推進
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自社WEBの内容更新、講演会への出席を実施 ・設備機器の管理標準の作成着手 ・一部蛍光灯をLED化を実施 ・エコキャップ活動実施 ・経営職及び管理職の研修実施
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	売上げ回復に伴い客数も増加し、成果に関しては、売上単位(百万円)あたりの電力使用量及び雑用排出量の削減が目標に届かず。しかし、昨年度7月以降、各部署の新しいKES推進メンバーを中心に、啓蒙活動を行い、環境に対する取り組みを深度化させた。その結果、雑用排出量の削減に関しては、7月以降前年の排出量を下回る数値となる。
事業活動に係る法令の遵守の状況	年一回及び必要の都度法令のチェックを行い遵守状況を確認している
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	月1回のワーキンググループ会議や経営職に対する定期報告を実施している環境委員会に於いて、社員全体に対する継続的な啓蒙活動の浸透方法を議論し、環境に対する意識を更に推進する

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。